

「温もりのある介護を目指して」

社会福祉法人サルビア会

理事長 岡田 三正

特別養護老人ホーム水荃の里

施設長 岡田 三正

平素は、社会福祉法人サルビア会が運営します、特別養護老人ホーム水荃の里を始めショートステイ、デイサービス、居宅介護支援の各事業にご支援ご協力をいただいておりますことに、厚くお礼申し上げます。

昭和63年4月に特別養護老人ホーム水荃の里を開設以来29年目を迎えました。この間には、関係諸機関や地域の方々、ボランティア、利用者並びにご家族等多くの皆様に支えられ今日を迎えましたことを、深く感謝申し上げます。

昨年10月に個室ユニット棟（40床）が完成いたしました。職員体制の不足などがあり満床に至っておりませんでした。ようやく平成28年6月から職員体制も充実しフル稼働での運営ができることとなりました。

昨年度は、新施設の初期投資の額が膨らみ単年度事業活動収支決算では7,800万円強の赤字となりました。しかし、順調に満床で推移すれば赤字運営は解消できるものと試算いたしております。

このような中、施設経営は大変厳しい環境にあります。社会福祉の精神を胸に刻んで取り組んでいく所存であります。

今後ともにニーズに沿った温もりのある介護サービスに取り組んでいく所存ですのでご支援ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。



社会福祉法人サルビア会中長期経営計画の策定

～利用者とその家族の安心・地域の信頼と期待に応えるために～

当法人は、昭和63年4月に特別養護老人ホーム水荃の里50床を開設し、老人デイサービス事業、短期入所生活介護、そして介護保険制度がスタートした平成12年度には、居宅介護支援事業所を開設し、地域の介護福祉の増進に寄与してまいりました。さらに、平成27年10月には、個室ユニット棟（別館）40室を開設し、今や入所ベッド数90床の市内で最も大きな介護福祉施設となり、併せて全職員数も80人を超えました。

一方、国においては社会福祉法人制度改革が進められ、平成28年3月31日に「社会福祉法等の一部を改正する法律（案）」が可決施行され、戦後福祉事業の担い手であった社会福祉法人は、その経営や社会貢献活動の在り方が改めて問われています。

そこで、サルビア会創設後30年の区切りを迎える平成29年度を新たな発展の初年度と位置づけ、「①地域貢献できる安定した経営 ②人材の確保・定着の取り組み ③地域社会との連携の強化」の3つを経営の柱とし、利用者とその家族の皆様に笑顔と安心を届け、そして地域の信頼と期待に応えられる法人として発展すべく、5年先（中期）10年先（長期）を見すえた中長期経営プランを平成29年2月目標に策定します。

現在、中堅職員による職員プロジェクトチームで原案を作成し、地域住民の代表や有識者、法人役員による中長期経営計画策定委員会では、原案に対し、それぞれの視点から意見を頂くなど、法人内だけでなく、地域の皆様等のご意見も反映しながら鋭意策定に取り組んでいます。

副施設長 村井幸之進

特別養護老人ホーム水莖の里

多床室

一年を振り返って

特別養護老人ホームでは、10月に北里保育園の園児の皆さんとの交流会を開催しました。和やかな一時を過ごしていただきました。

12月にはクリスマス会を開きました。歌を歌ったりサンタさんからの心のこもったプレゼントに喜んでいただきました。

平成28年3月～4月 イチゴ狩り

恒例のイチゴ狩りに竜王町の高野農園に出掛けました。
取れたてのイチゴを美味しそうに沢山食べておられました。
笑顔いっぱい、お腹いっぱいの日でした。

平成28年 5月 皐月会

五月晴れの良いお天気の下、園庭にてご来園の家族様と一緒に仮装姿の職員と歌ったり手拍子を叩いたりして、楽しい時間を過ごされました。



皐月会



外食ツアー

平成28年6月～7月お出かけ

アグリパーク竜王、守山のピエリ、草津の琵琶湖博物館へ小動物や鳥、魚とのふれあいツアーに出掛けました。昼食はお好みの食事を楽しんでいただきました。

楽しく過ごされていました。又イオン近江八幡店へは買い物と外食ツアーに出掛けました。お気に入りの衣類を手にとって満足されました。

平成28年8月 納涼祭

お天気に恵まれ多くのご家族様にも出席頂き無事開催する事が出来ました。今年はびわこ八幡ロータリクラブ様のコーラスの参加で一緒に歌ったりしながら楽しく過ごしていただきました。又ヨーヨー釣りや輪投げも楽しんでいただきました。



夏まつり

ユニット棟

「開設から一年がたちました」

昨年10月ユニット棟を開設し、40名が生活されています。ご本人の残存能力を活かし、住み慣れた自宅での生活の継続を目指した介助に努めています。

平成28年10月 秋祭り

ユニット棟では、初めての大きな行事として「秋祭り」を開催いたしました。

祭り内容としては、八幡中学校生の八中太鼓クラブの力強い演奏をしていただきました。又、職員自ら着ぐるみの仮装で、利用者の方と共に歌を歌い、楽しんでいただけたのではないかと思います。又、昼食では出店を作り、利用者様と家族様が共に昼食を召しあがっていただきました。今回初めての秋祭りでしたが、利用者様40名の家族様が50名余のご参加をいただき、利用者様も喜んでいただけたのではないかと感じています。



利用者様は、ご家族の面会をお待ちです。行事などのご参加をお待ちしております。

水莖の里デイサービスセンター

水莖の里デイサービスセンターでは一年間を通し、桜の花見、こいのぼり作り、アジサイ作り、七夕飾り、夏祭り、運動会、外食ツアー、クリスマス会など季節の行事を皆さんと一緒に楽しく過ごしていただいております。

平成27年度は、学生さんやボランティアさんによる出し物もたくさん実施していただき、誠にありがとうございました。



クリスマス会

高齢者の方が多くの人と触れ合うことで刺激を受け、寝たきりや引きこもりの予防や認知症の緩和となります。また、介護に携わる家族様の負担軽減など、利用者様と家族様のニーズを把握し、心の通い合いを大切にしたいサービスを提供していきます。

デイサービスセンターでは、個別機能訓練サービスを提供しております。現在64名の方が訓練を実施されています。

3か月に一度、理学療法士の方が来られ、お身体の状態を個別に評価していただき、プログラムを作成し、看護師の指導のもと訓練を実施しています。

また評価の事前に機能訓練指導員等による訪問調査を実施させていただき、ご家族様とご本人様の要望を踏まえプログラムを作成しております。

訓練により機能の維持・向上、認知症の遅延、拘縮予防など様々な効果があります。



八中太鼓



個別機能訓練

水莖の里居宅介護支援事業所

「身内の介護のことで相談したい」「昼間は家で一人なので、誰かと話をしたり楽しめることがあるといい」「退院したあと、今までのように家で過ごせるか心配」「足腰が弱らないようにリハビリを受けたい」等々、在宅で過ごされているご高齢者の様々なご相談に対し、ご本人様やご家族様の立場になって支援をさせていただきます。介護保険の申請や更新のお手伝いもお受けできますのでお気軽にご相談ください。

新人職員です。よろしくお願いいたします。



事務室
西川 智之



事務室
武澤 直美



多床棟
伊勢村 寿美子



ユニット棟
佐川 良夫



ユニット棟
中島 玲奈



ユニット棟
窪内 幸司



ユニット棟
籠 瑞紀



ユニット棟
井上 達



ユニット棟
藤井 由美子



ユニット棟
清水 苑代



ユニット棟
工藤 泰恵



居宅介護支援事業所
北川 隆二



ディサービス
梅村 智寿子



ディサービス
小林 恵理



貸借対照表
平成 28 年 3 月 31 日 現在

(単位：円)

資 産 の 部		負 債 の 部	
	金額		金額
流動資産	111,590,453	流動負債	37,158,623
現金預金	46,880,861	事業未払金	22,684,403
事業未収金	62,508,900	職員預り金	2,202,220
未収補助金	759,780	賞与引当金	12,272,000
立替金	232,712		
前払費用	1,208,200		
固定資産	900,061,102	固定負債	465,491,150
基本財産	817,948,320	設備資金借入金	450,000,000
土地	49,862,462	退職給付引当金	15,491,150
建物	768,085,858	負債の部合計	502,649,773
その他の固定資産	82,112,782	純 資 産 の 部	
構築物	3,073,319	基本金	82,737,441
車輛運搬具	4,917,771	第 1 号基本金	18,502,350
器具及び備品	55,392,089	第 2 号基本金	64,235,091
建設仮勘定	847,800	国庫補助金等特別積立金	182,681,785
権利	278,576	その他の積立金	0
ソフトウェア	1,835,207	次期繰越活動増減差額	243,582,556
投資有価証券	100,000	(うち当期活動増減差額)	△ 78,819,709
退職給付引当資産	15,491,150	純資産の部合計	509,001,782
長期預け金	176,870	負債及び純資産の部合計	1,011,651,555
資産の部合計	1,011,651,555		

事業活動・資金収支計算書(自) 平成 27 年 4 月 1 日 (至) 平成 28 年 3 月 31 日

(単位：円)

事業活動計算書			
勘 定 科 目			金額
サ ー ビ ス 活 動 増 減 の 部	収 益	介護保険事業収益	376,229,717
		経常経費寄附金収益	267,000
		サービス活動収益計 (1)	376,496,717
	費 用	人件費	295,682,059
		事業費	77,168,967
		事務費	47,736,850
		利用者負担軽減額	2,813,125
		減価償却費	35,549,795
		国庫補助金等特別積立金取崩額	△ 8,212,528
		サービス活動費用計 (2)	450,738,268
サービス活動増減差額 (3)=(1)-(2)		△ 74,241,551	
サ ー ビ ス 活 動 外 増 減 の 部	収 益	受取利息配当金収益	258,530
		その他のサービス活動外収益	2,372,709
		サービス活動外収益計 (4)	2,631,239
	費 用	支払利息	2,005,287
		その他のサービス活動外費用	1,164,857
		サービス活動外費用計 (5)	3,170,144
サービス活動外増減差額 (6)=(4)-(5)		△ 538,905	
経常増減差額 (7)=(3)+(6)		△ 74,780,456	
特 別 増 減 の 部	収 益	施設整備等補助金収益	119,820,880
		特別収益計 (8)	119,820,880
	費 用	固定資産売却損・処分損	4,039,253
		国庫補助金等特別積立金積立額	119,820,880
		特別費用計 (9)	123,860,133
	特別増減差額 (10)=(8)-(9)		△ 4,039,253
当期活動増減差額 (11)=(7)+(10)		△ 78,819,709	
繰 越 活 動 増 減 差 額 の 部	前期繰越活動増減差額 (12)		322,402,265
	当期末繰越活動増減差額 (13)=(11)+(12)		243,582,556
	基本金取崩額 (14)		0
	その他の積立金取崩額 (15)		0
	その他の積立金積立額 (16)		0
	次期繰越活動増減差額 (17)=(13)+(14)+(15)-(16)		243,582,556

資金収支計算書			
勘 定 科 目			金額
事 業 活 動 に よ る 収 支	収 入	介護保険事業収入	376,229,717
		経常経費寄附金収入	267,000
		受取利息配当金収入	258,530
		その他の収入	2,372,709
		事業活動収入計 (1)	379,127,956
	支 出	人件費支出	281,494,239
		事業費支出	74,142,787
		事務費支出	47,735,122
		利用者負担軽減額	2,813,125
		支払利息支出	2,007,015
その他の支出	1,063,357		
事業活動支出計 (2)		409,255,645	
事業活動資金収支差額 (3)=(1)-(2)		△ 30,127,689	
施 設 整 備 等 に よ る 収 支	収 入	施設整備等補助金収入	118,411,780
		設備資金借入金収入	450,000,000
		施設整備等収入計 (4)	568,411,780
	支 出	固定資産取得支出	637,389,568
		固定資産除却・廃棄支出	2,956,397
		施設整備等支出計 (5)	640,345,965
施設整備等資金収支差額 (6)=(4)-(5)		△ 71,934,185	
そ の 他 の 活 動 に よ る 収 支	収 入	積立資産取崩収入	230,100
		その他の活動収入計 (7)	230,100
	支 出	積立資産支出	2,145,920
		その他の活動による支出	167,770
		その他の活動支出計 (8)	2,313,690
	その他の活動資金収支差額 (9)=(7)-(8)		△ 2,083,590
予備費支出 (10)		—	
当期資金収支差額合計 (11)=(3)+(6)+(9)-(10)		△ 104,145,464	
前期末支払資金残高 (12)		190,849,294	
当期末支払資金残高 (11)+(12)		86,703,830	